

本校志願者の保護者の皆様へ

「保護者説明会」の内容とあわせて、下記の事項をご理解のうえ、志願してください。

1. 本校は、教員養成課程をもつ大阪教育大学の研究校です。

本校は、公立小学校と同じく、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的にした学校です。同時に本校は、教育のあるべき姿や改善をめざして、教育の実践的研究を行うことを使命としています。そのため、学習指導要領をふまえて教育内容や教育方法に独自の工夫を加えた先導的な実践を行ったり、教員が学校内外で研究・研修活動を行ったりしています。このため、時間割や日程の変更、自習の時間等もあります。

2. 教育実習の指導も本校の大きな使命の一つです。

大阪教育大学学生の基本教育実習（約4週間）、併修教育実習（約2週間）の指導を行っています。

教育実習期間においては、児童と教育実習生とが共に学校生活を過ごす新たな出会いの場となります。また、同期間中に、教員の指導のもと一定の授業時数、教育実習生が授業を行います。

3. 附属池田中学校への連絡進学制度があります。

本校は上記の使命をもった学校なので、受験を考えた特別なカリキュラムによる授業を行っておりません。卒業後の進学は、附属池田中学校、公立中学校、私立中学校の3つに分かれます。学校長の推薦を受け合格した者は、附属池田中学校へ連絡進学することができます。

4. 帰国児童の受け入れを行っています。

本校は国際化社会に対応して、第3学年より帰国児童を別途募集しています。この帰国児童と一般児童による混合学級で、共に国際化社会に対応できる人間となることをめざした学習を進めています。また、諸外国の学校と交流協定を締結し、児童及び教員が交流をしています。

5. 学校災害特別研究児童の受け入れを行っています。

平成13年6月8日に起こった児童等殺傷事件を契機に、学校災害における兄弟姉妹の死亡という喪失体験をもつ児童を受け入れ、大学と連携して児童の発達過程と支援のあり方に関する教育実践研究を行っています。入学後の児童は、一般児童との混合学級に在籍し、一般児童と同一のカリキュラムによる教育を基本として研究を進めています。

6. その他、次の点に十分ご注意ください。

- 合格者決定後、応募資格等で事実と相違することが判明した場合、合格を取り消すことがあります。
- 児童の教育及び保護・管理の必要上「通学許可区域」を定めています。許可区域外からの出願は認めません。
- 「通学許可区域」外に転居された場合、もしくは「通学許可区域」外からの通学が判明した場合は、原則として転校していただきます。
- 安全で充実した学校生活を送るためには、自分と他者（地域社会も含む）、それぞれの立場を考えて行動することが大切です。そのために本校では、いくつかのきまりを設け、遵守していただいております。詳細については入学後、説明いたします。